

## 南越前町の特産品を対象にした紹介カード作成一 道の駅 南えちぜん山海里を拠点として一

為沢 友月、藤次 光咲

### ■活動内容

①リーフレット（冊子）作りにむけて 活動当初、私たちは“南越前町の人・まちのよさ”を伝えることを目的とし、「道の駅 南えちぜん山海里（以下：山海里）」設置することのできるリーフレット（冊子）づくりを考え、南越前町についての情報収集およびリーフレットに掲載する内容の検討などを行ってきた。

②現地視察 9月末に、宇野様に町内をご案内していただきながら現地視察を行った。午前中は今庄駅周辺および宿場町の散策、現地の方々との交流を行い、午後からは南越前町役場へご訪問に伺い、考えていたリーフレット案についての意見交換や山海里の現状および課題についてご教示頂いた。また実際に山海里に訪れたことで、「南越前町産の商品が置かれている場所の不明確さ」「POPの統一性」など山海里における新たな課題も明らかとなった。

③企画案の再検討、作成 現地視察をふまえて明らかとなった課題を受け、作成するものをリーフレットから南越前町産商品の紹介カードと店内マップに変更した。変更後の目的は「南越前町産商品の導線づくり」および「来訪者に南越前町で作られているものをより知ってもらうこと」とし、以上2点の作成に着手した。

### ■町との関わり

2022年9月26日、一日をかけて宇野様に南越前町をご案内して頂いた。午前中は主に今庄駅周辺を散策しながら、鉄道と宿場町の歴史や福井県での冬の暮らし方等について学んだ。午後からは役場へのご訪問および山海里での視察を中心に、活動における具体的な方針や実現可能性について自身の目で確認し、考えることができた。また宇野様にはその他たくさんの南越前町のお店へ連れて頂いた。交流した現地の方からは「頑張ってるね」と声をかけて頂き、南越前町で暮らす人々の温かさや町のすばらしさを実感した。

### ■情報発信・共有

ゼミ内で活動状況を報告しアドバイスを得ていた。教授からは、「視覚的な情報に併せて、ラジオ形式のように聴覚的な情報も発信できると、さらに面白いものとなるのではないか」というアドバイスをいただき、紹介カードをさらに発展させることが出来ると考えた。また同輩からは、「南越前町や福井県に足を運んでみたい」「私も活動に参加してみたい」という声を貰い、この取り組みを継承し、次年度へつなげていくことも可能であると感じた。

### ■成果（変化）

活動前は、今まで南越前町との深い関わりを持つことがなかったため、本プロジェクトを通して、まちの方々と積極的に交流しながら、私たち自身が南越前町の魅力を知り、それらを発信したいと考えていた。実際に南越前町に訪問して、人の温かさや優しさ、歴史・自然の豊かさ、関西からのアクセスの良さ、お店の素敵さなど、地域資源の豊富さに気づくことが出来た。特に、町外から来た私達を温かく迎え入れて、励ましの言葉や感謝の言葉をいただいたことが心に残っており、地域内外問わず、より多くの人々にこのまちの人々の優しさや素晴らしさを気付いてもらいたいと感じた。そして来訪を機により一層活動に励みたいと思った。今回の活動を通して、南越前町の春夏秋冬それぞれの魅力や、未だ知らない南越前町の魅力を知りたいと感じたため、継続的に南越前町や住民の方々と関わりたいなど考える。そのかわりの中で、南越前町の魅力をさらに深掘りしたい。ゼミ内で活動内容を共有したところ「この取り組みに興味を持った」「南越前町を訪れてみたい」という声があったため、後輩に引き継ぐことが出来れば、紹介カードの実現や発展の可能性も高まる。

